【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【公開番号】特開2010-165496(P2010-165496A)
【公開日】平成22年7月29日(2010.7.29)
【年通号数】公開・登録公報2010-030
【出願番号】特願2009-5453(P2009-5453)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ　10/44　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　2/10　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　2/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ　10/44　Ｐ
Ｈ０１Ｍ　2/10　Ｅ
Ｈ０１Ｍ　2/10　Ｍ
Ｈ０１Ｍ　2/20　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成24年1月13日(2012.1.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
１または複数の素電池からなる電池ブロックと、
非導電性基板に離間して形成した２の電気接点を有する接続機構部品と、
該２の電気接点を接続する該接続機構部品と別体に設けた導電性部材を介して前記電池ブロックと並列に接続される前記電池ブロックの放電回路とを有することを特徴とする２次電池パック。
【請求項２】
前記放電回路が前記電池ブロックのエネルギー残存状態を示す残量表示部を含む請求項１に記載の２次電池パック。
【請求項３】
前記残量表示部がＬＥＤと前記ＬＥＤの電流制限抵抗を含み、前記ＬＥＤの点灯状態に応じ前記エネルギー残存状態を示す請求項２に記載の２次電池パック。
【請求項４】
前記放電回路が、前記電池ブロックの放電抵抗からなる請求項１から３のいずれか１項に記載の２次電池パック。
【請求項５】
前記接続機構部品は、基板の貫通孔上の両面に前記貫通孔と同一径の孔があるねじ端子を有し、それぞれの前記ねじ端子は基板上のパターンにより前記電池ブロックおよび前記残量表示部と接続されていることを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の２次電池パック。
【請求項６】
前記電池ブロックの電圧等を検知し、充放電の制御を行う回路を有する電池パック管理基板を含む請求項１から５のいずれか１項に記載の２次電池パック。
【請求項７】

前記接続機構部品を電池パック外部から不可視に設けた請求項１から６のいずれか１項に記載の２次電池パック。